

発行

下関市防災協会

下関市岬之町17-1  
☎083-233-9114

監修

下関市消防局  
予防課



# 謹 賀 新 年

## 年頭のごあいさつ



下関市防災協会  
会長 矢佐 竹春



新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え会員の皆様方に謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素から当協会の運営に際し、下関市消防局並びに会員の皆様に

多大なご指導、ご支援を賜りましたことに対し心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、下関市におきましては特筆する災

害は発生しておりませんが、全国的に自然災害の猛威はとどまると

ころがなく、台風の上陸や集中豪雨、特に7月5日から6日にか

けて福岡県と大分県を中心とする九州北部を襲った豪雨では甚大な被

害が発生し、改めて自然の脅威と防災対策の重要性を感じさせられ

ました。この九州北部豪雨には下関市消防局からも被災地に緊急消

防援助隊として多くの職員の方が派遣されたと伺っております。

火災につきましては昨年2月埼玉県での大規模倉庫火災、3月の

茨城県での産業廃棄物火災など社会生活に大きな影響を及ぼす火災

が発生しております。一方、下関市の火災発生件数は75件と昨年よ

り1件増加は致しましたが減少傾向を続けて越年でできましたことは

ご同慶の至りと存じます。

当協会といたしましても、地域社会・会員事業所並びに行政と連携

して減災、出火防止に取り組まなければならないと考えております。

おわりに本年が災害のない平穏な年でありますとともに、消防局

並びに会員事業所の皆様方のますますのご発展とご健勝をお祈り申

し上げ新年のごあいさつとさせていただきます。



# 平成30年 消防出初式挙行

新春を飾る恒例の下関市消防出初式が、さる1月6日(土)、下関市豊前田町、海峡メッセ下関及び海峡ゆめ広場周辺で挙行されました。

海峡ゆめ広場前の路上で消防職・団員、会員事業所自衛消防隊及び婦人防火クラブ員、幼年・少年消防クラブ員総勢1,119人、消防車両38台による分列行進が行われた後、会場を海峡メッセ下関に移して式

典等が行われました。

式典では、前田市長の式辞に続き消防職・団員の永年勤続表彰と平素の防火管理や防火活動に多大な功績のあった方々の表彰が行われました。

式典後は、同場所でも消防団員による「海峡まとい太鼓」と消防職・団員による「はしご乗り演技」が披露され、消防出初式が華やかなうちに幕を閉じました。



## 受賞おめでとうございます

平成30年消防出初式で、次の個人と団体に表彰状が贈られました。  
(敬称略)

※一般表彰のみ掲載

### 下関市長表彰

#### ◎ 一般表彰

##### 〔個人〕

- |                 |      |      |
|-----------------|------|------|
| 新地自治連合会         | 会 長  | 清水勇作 |
| 清末自治連合会         | 会 長  | 太田英博 |
| 彦島第五自治連合会       | 会 長  | 和田 博 |
| 学校法人下関学園        | 園 長  | 村田健二 |
| 下関国際高等学校附属幼稚園   | 園 長  | 村田健二 |
| 社会福祉法人豊北福祉会     | 理事長  | 松尾暢生 |
| 株式会社丸久 サンマート菊川店 | (団体) |      |







第40回  
下関市防災協会視察研修  
平成29年10月20日

## 防災視察研修に参加して

錦町総合開発事業  
平瀬ダム建設工事

株式会社ブリヂストン下関工場  
植村 勉

ブリヂストン下関工場の植村です。平成29年3月末をもって消防局を退職し、縁あってブリヂストンに再就職しております。消防局在職中には視察研修のお伴をさせて頂いたこともありましたが、会員事業所としては初めての参加です。

当日は、総勢18人のメンバーで、予定より若干早い8時前に消防局長をはじめ予防課のみなさんに盛大に見送られ、いざ出発。昨年までは見送る側だったのでちょっといい気分です。

まずは、岩国市錦町で建設中の「平瀬ダム」へ向かって、閑古鳥の鳴く中国道をひたすら東へ。島根県の六日市インターで一般道へ降り、再度山口県へ。予定より若干早く現地に到着しました。

県企業局の担当者から説明を受けながら、建設現場の上方から覗き込み、現場の壮大さに感激しました。「平瀬ダム」は錦川の氾濫による被害を防ぐための治水及び渇水対策としての利水が主な目的で、昭和63年から建設事業に着手し、周辺道路等を整備後、平成27年2月からダム本体の工事に着手、平成33年度に完成予定です。周辺道路の整備や、水没予定集落移の移転等ダム本体工事に着手するまでかなりの時間を要しています。完成後は、ダム本体の高さ73m、幅300m総貯水量2千9百50万㎡の西日本有数のダムになるよ

うです。建設現場の下に降り、川底予定の工事現場下から上方を見上げると、作業者が作業用階段を上がっているのが目に入りました。現在の高さは40数メートル、更に今後30メートル近く高くなるようなので作業者の苦勞が分かりますし、また危険な高所作業での大変さも目の当たりになりました。完成後は、錦川の氾濫による災害も無くなるでしょう。作業者のみなさん、ご安全に。

「平瀬ダム」を後にして昼食後、再び中国道に上がり、山陽道経由で東広島市西条の酒蔵巡りへ。初日は、会長をはじめ参加者みなさんの日頃の行いが良かったようで、天候にも恵まれ試飲三昧の勢いで竹原の宿へと向かい、その後懇親会へと続きました。宿の部屋割りはカルテットでしたが、いびきと寝言はオーケストラだったらしいです。（寝たもの勝ちで記憶がありませんが。）

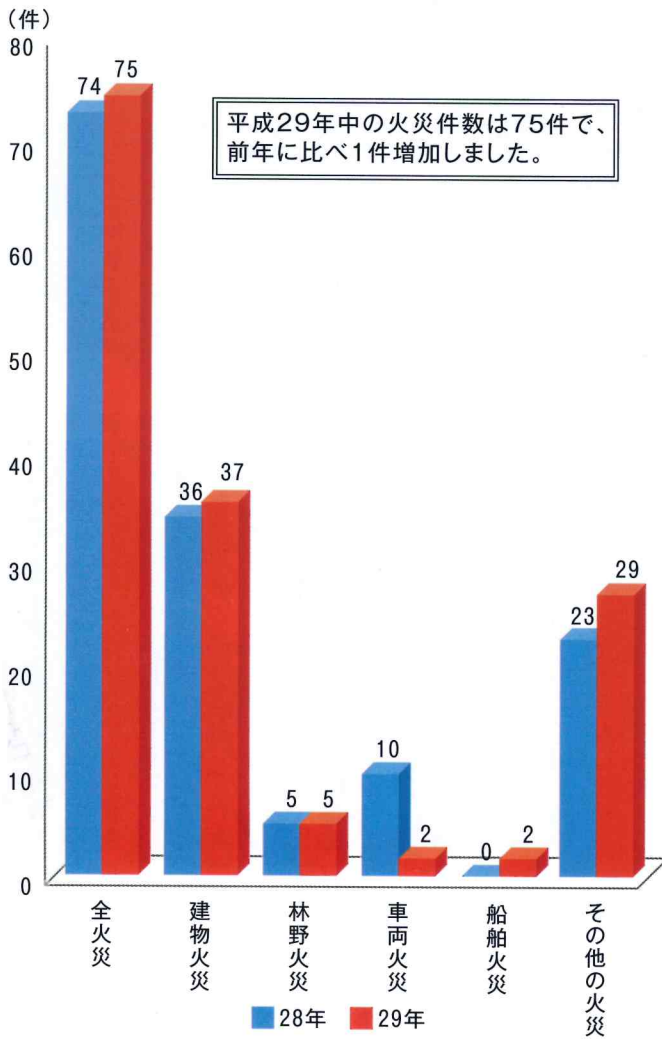
二日目は初日と逆で、懇親会での行いが悪かった？せいか、江戸時代、塩や酒造りで栄えた豪商、由緒ある旧家の街並み散策は雨、雨、雨、あのマッサンの竹鶴酒造も涙雨での見学でしたが、竹原の街並みには雨が良く似合っていました。雨は止むどころか強くなる中、呉市の大和ミュージアムへ。道中渋滞に阻まれ呉市での滞在時間は短くなったものの、当時の我が国の技術の粋として完成した「戦艦大和」は真に芸術品でし

た。また、海底深く眠る無残な姿を映像で見て、現在の平和な日本が永遠に続きますようにと祈りました。今回は、ダム建設現場という普段見ることのない視察で自分自身の見識も広がりましたし、会長をはじめ参加会員の方とも大いに親睦が図れたと思います。最後に、軽妙な語り口のガイドさん、安全運転の運転手さん、会長をはじめ参加者のみなさん、そして事務局のみなさんありがとうございました。お疲れ様でした。





平成29年下関市火災概要



平成29年の火災件数は75件で、過去50年で最小件数であった平成27年の65件と比べて10件増加していますが減少傾向は続いています。火災種別では建物火災が37件と全体の49%を占めており、前年と比べ1件増加し

ています。また、枯草やごみ等が焼損したその他の火災は29件で6件増加していますが、車両火災は2件で8件減少しています。火災の大半は、ちょっとした不注意や油断から起こって

います。普段から火災予防に努めましょう。



# 下関市火災発生状況

## 平成29年火災件数75件!

(件)

	全火災	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他の火災
平成29年	75	37	5	2	2	29
平成28年	74	36	5	10	0	23
前年比	+1	+1	±0	-8	+2	+6

**★会費納入のお願い**

今年度も残すところわずかとなりました。まだ会費を納入されていない会員事業所におかれましては、年度内に納入していただきませうよろしくお願い致します。

振込先等につきましては、協会事務局にお問い合わせをお願いいたします。

下関市防災協会

TEL 2333-9114

**事務局**

**だより**

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

協会の運営につきましては、平素から格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も協会事務局と消防局が相協力して火災予防を推進し、火災のない明るい地域づくりに努める所存です。今年も、昨年同様に協会運営について、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。